

## 情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 精神病床における隔離・身体的拘束に関する実態調査

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 西村克彦 (精神科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

精神科医療における隔離と身体的拘束の実態、および近年の増加要因をこの調査で把握し、患者様の人権を尊重した質の高い医療を精神科で実現するために必要な情報を得ることを目的とします。

研究方法：本研究のデータは、電子データシステムを用いて研究班へ提供します。

研究期間：実施承認後～2024年3月31日

■ 対象となる患者さん

2009年、2014年、2019年6月に、本医療機関で入院中に隔離もしくは身体的拘束を受けた方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：利用しません。

情報等：診療録から以下の情報だけを調査します。氏名・連絡先などは調査いたしません。

属性に関する項目：病棟の種類、年齢層(5歳階級)、性別、主診断、入院年月、入院形態

隔離・拘束に関する項目：開始日、介助日、該当要件、深夜0時と正午に実施されていたか

■ 外部への試料・情報の提供

あなたから提供された情報等の研究データは医療機関で個人を特定できない形式にしてから、調査Webサイトへアップロードされます。

■ 研究組織

研究責任者・調査事務局：国立精神・神経医療研究センター 山之内芳雄

〒187-8551 東京都小平市小川東町4-1-1

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

データ保存とデータ集計の業務委託：日本IBM

調査対象施設：精神病床を有する医療機関(約1600 施設)

■ [問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

白井俊早、医事課

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971